

# 「日本書紀完成・藤原不比等没後1300年記念」イベント オンライン配信について

無観客で実施した「日本書紀完成・藤原不比等没後1300年記念」イベント記念シンポジウムの基調講演、パネルディスカッション（ダイジェスト版）及び藤原不比等の足跡を辿る映像を、なら記紀・万葉HP（<http://www3.pref.nara.jp/miryoku/narakikimanyo/>）からオンライン配信いたします。

## 概要

### 「日本書紀完成・藤原不比等没後1300年記念」イベント 記念シンポジウム 「史は剣よりも強し ならぶひとなき古代の英雄」

#### ○基調講演 馳星周（作家）

初めて発表した小説の主人公がなぜ藤原不比等だったのか。その経緯と馳氏からみた不比等の魅力を語ります。

#### ○パネルディスカッション（ダイジェスト版）

パネリスト：馳星周、里中満智子（マンガ家）  
千田稔（奈良県立図書館情報館館長）  
ブルース・バートン（アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター所長）

コーディネーター：毛利和雄（元NHK解説委員）

当時の東アジア情勢を背景に、日本の国の黎明期に不比等が果たした役割を考察するとともに稀代の政治家・藤原不比等を浮き彫りにします。

#### ○藤原不比等の足跡を辿る映像作品上映

主演：加藤雅也

主催：奈良県、文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会

日本書紀完成・藤原不比等没後1300年記念シンポジウム  
『史』は剣よりも強し ならぶひとなき古代の英雄  
なら記紀・万葉 HPで公開中!!

**基調講演**  
馳星周 (作家)  
1959年千葉県で作家デビュー。その後、主にグローバル圏を多数発表し人気を得る。2016年藤原不比等の生涯を描いた『比古等』を、続いて不比等没後1300年を機に『日本書紀』を再読し、2020年5月まで日本書紀を再読した。見えた人間・不比等の魅力を語ります。

**パネルディスカッション**  
まだ混沌とした古代日本において、藤原不比等の目は何を捉えていたのか、当時の東アジア情勢を背景に、日本という国の黎明期に不比等が果たした役割を考察するとともに、稀代の政治家・藤原不比等を浮き彫りにします。

**パネリスト**  
里中満智子 (マンガ家)  
真紀子時代の作品『ヒメ』の自叙伝『満智子の物語』を著書し、プロデュース。その後、50余年にわたる幅広い創作活動に力を入れている。歴史を扱った作品も多く、連続大衆が主人公の『天竺』は2019年の最優秀マンガ賞を受賞した。

千田稔 (奈良県立図書館情報館館長)  
京都大学文学部史学専攻、同大学教授と奈良県立図書館を併任。奈良女子大学教授、国際日本文化研究センター教授などを歴任。「古代の風景へ」「古事記の奈良大和路」ほか著書、監修多数。

ブルース・バートン (アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター)  
アメリカ・オレゴン州出身。スタンフォード大学で博士号を取得後、同校、1980年代後半から2000年代まで、同校で教授職に就任。古代日本における「異国」をテーマに、本邦を舞台とした、著書に『異国の誕生』など多数。ホリモート出演。

**コーディネーター**  
毛利和雄 (元NHK解説委員)  
大卒卒業後、毎日新聞社に入社。奈良、大分県などで同年代文化財振興を担当。文芸春秋『キトク』を刊行。奈良県立総合資料館の常務理事に就任。著書に『奈良県立総合資料館の歴史』など。

**藤原不比等の足跡を辿る映像作品**  
『国とは何ぞ』  
大化の政新で重要な役割を果たした藤原不比等を文に持つ。藤原不比等、難民の魂から奈良時代を駆け抜けた不比等の、国造りへの苦悩を描きます。国の形がまだ定まらない中で人々をまとめるには何が必要かを考え抜いた不比等は、「時局」による困難を克服して、そして、国を築きあげた。国を築くためににはどのような道を選んだのかを振り返ります。遺跡の復元、歴史書の編纂、平城京への遷都など不比等の功績を、エピソードを交えながら話題ドラマ風に再構築した。

なら記紀・万葉HP(<https://www3.pref.nara.jp/miryoku/narakikimanyo/>)をご覧ください。

主催：奈良県、文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会